



DXを推進し、業務プロセスや成果の見える化は進んでいます。しかし、DXを現場で使いこなし、変化につなげるためには、日々の改善が回り続けていることが不可欠です。改善提案が続かない背景には、従業員の意欲ではなく、挑戦とスキルのバランスという「状態のズレ」があります。

本講演では、フロー理論と最新研究をもとに、リーダーが現場の状態を読み取り、DXを人の感度を補強する支援ツールとして活かしながら、改善を循環させ、DX推進を前に進める考え方を解説します。

→ 改善が途絶える本当の理由: フローと“状態のズレ”



“見える化できない状態”を読む

– 人の感度とデジタルの目でフローの兆しを捉える –



状態別アプローチ: 改善が循環するための介入デザイン



DX時代のリーダーに求められる役割

– 自動化の先で“新たなフロー”を設計する –



講師 [Speaker]

横澤 公道 氏

横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授

米国・東ワシントン州立大学経営修士号(MBA)、オランダ・トウェンテ大学大学院経営管理学研究科博士課程修了。博士(経営学)。

専門は、海外における改善活動の実施、リーダーシップと人材育成、組織行動、定性研究法など。東京大学大学院経済学研究科ものづくり経営研究センター特任助教、兵庫県立大学講師を経て、横浜国立大学大学院国際社会科学府研究院へ着任。2024年より教授。主要業績には、International Journal of Production & Operations Management(2021)、Journal of Manufacturing Technology Management(2025)をはじめとする国際ジャーナルでの多数の論文がある。2023年度、横浜国立大学最優秀研究者賞を受賞。

中小企業経営者等
DX推進に意欲のある企業経営者、管理職等

ソフトピアジャパンセンタービル10階 大会議室
(岐阜県大垣市加賀野4-1-7)
または オンライン(Zoom)

会場 現地 **50** 名

会場 オンライン **100** 名

参加費 **無料**

お申込み

公益財団法人ソフトピアジャパンのホームページよりお申込みください ►►►

<https://www.softopia.or.jp/events/dx20260303/>

公益財団法人ソフトピアジャパン デジタル人材育成課

☎ 0584-77-1166

✉ service@softopia.or.jp



「見える化」できないものを読む力

2026 **3月3日**
13:30~14:50
(13:00 受付開始)